

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1番1号 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会 発行責任者／坂野高志

URL: <https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>

目次	後援会会長、学長、学部長等挨拶・1～2	進学先・就職先一覧・10～11
	入学式・3	資格取得等報奨制度・12
	学生活動だより・4	会計士・シヤリスト育成支援制度受給者の声・13
	入学状況・5	後援会総会・令和6年度決算（収支報告）14
	大学紹介・6～7	令和7年度予算・役員名簿・編集後記・15
	就職活動と支援・就職状況・8～9	令和7年度学年暦・行事・16～17

会長挨拶
後援会会長
坂野高志



坂野後援会会長
坂野高志
今年度から後援会4年目にして後援会会長を務めさせていただきます。後援会に感謝の意を込めてお話しさせていただきます。

他県から就職とともに彦根に移り住み、子ども3人がこの地で育ちました。上2人が滋賀大学にご縁があったため、何か親の立場としても支援出来るのではないかと思います。後援会に参加させていただきます。

後援会規約には「本会は、会員相互の連絡親睦をはかり、両学部の事業を援助し、教育研究目的の達成に資することを目的とする。」とあります。この目的を見失わず、後援会として学生の皆様の充実した学びの環境作りにご協力させていただく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

学長挨拶



竹村学長
竹村彰通
新型コロナウイルス感染症の5年連続感染症患者の増加に伴い、キャンパスは

コロナ以前のように活気があふれています。入学式もすべての新入生が一堂に会しておこなうことができました。

昨年度中建設が進んでいた「イニシアティブ棟」も竣工し、1階は学生も集うオープンスペースとなり、これもキャンパスのにぎわいにつながっています。世界は不安定化し、その中で日本の将来も心配な状況ですが、彦根キャンパスでは学生が安心してのびのびと成長できる環境を整えて行きたいと考えています。保護者の方々もぜひ一度キャンパスにお越しください。

経済学部長挨拶

能登真規子



能登学部長
能登真規子
後援会の皆様におかれましては、滋賀大学経済学部

の教育研究にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。春の賑わいに包まれたキャンパスも、あつという間に季節が移りました。彦根キャンパスでは、イニシアティブ棟の完成に続き、大合併講義室の建て替え工事が始まりました。来年度の秋には完成し、使用開始の予定です。

今年度より、生協食堂の混雑緩和とキャンパスライフの彩りのために、期間限定でキッチンカーの構内営業が始まりました。後援会のご支援により設置された玄関前のサークルベンチには、学生たちが集う姿がよく見られます。

経済学部のレイトスペシャライゼーション（3年次からの専攻選択制度）の導入後の第1期生が進級しました。さまざまな専門領域を学べるのが滋賀

大学経済学部の強みです。学生の皆さんには意識して世界を広げていただきたいと思います。

データサイエンス学部長挨拶
市川治



市川学部長
市川治
データサイエンス学部長の市川治です。日頃、後援会の活動にご

協力をいただき、ありがとうございます。日本では18歳で成人になります。大学生はまだまだ子供から大人になる過渡期にあります。自分に自信が持てなかったり、進路や友人のことで悩んだり、生活リズムが乱れたりしやすい時期です。どうぞ、子供たちの生活に関心をもつてあげてください。友人の名前や先生の名前を覚えてお話を聞きたてあげたり、機会があれば大学のキャンパスに足を運んだりすると、子供たちの日常を具体的にイメージできるようになると思います。

大学院経済学研究科長挨拶

岡本哲弥

平素より滋賀大学の教育研究にご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

昨年度は、新たに経済学研究科博士前期課程に日本初の経営分析学専攻が立ち上がり、経済・経営学の専門性と多様性の上に、データサイエンスの方法論が強化されました。本年度は、文部科学省の公募事業に採択された

「データ×アーツ×国際連携による新たな総合知に基づくビジネス・インサイト養成プログラム」が始まります。

このような革新的プログラムを通じて、VUCAの時代に通用する問題意識と洞察力を持つ人材の育成に取り組んで参ります。

大学院データサイエンス 研究科長挨拶

飯山 将晃

平素より本研究科の教育・研究活動にご支援を賜り、誠にありがとうございます。本年度も研究科長を拝命いたしました飯山将晃です。令和7年度入試より博士前期課程の募集定員を80名に増員しましたが、おかげさまで82名が入学し、ますます活気ある学びの環境が整いました。イニシアティブ棟も竣工し、学生・教員が交流できる環境も充実してきました。これからも多様な分野で実践力を備えた高度データサイエンティストの育成に邁進してまいります。本年度も引き続きご指導・ご支援よろしくお願い申し上げます。

経済学部副学部長挨拶 総務・企画担当

佐野 洋史

本学部では、学生たちの様々な学習意欲に対応できるよう、多様な専門・教養科目を開講しています。加えて、データサイエンスコースなども用意し、現代社会で重要性が増す学問を学生たちがしっかりと学べる教育体制を作っています。総務・企画担当として、学生たちが充実した大学生活を送り、希望する進路を叶えられるよう、今後もより良い教育体制の整備に取り

組んでいきます。

学務・学生生活担当

金谷 太郎

平素より滋賀大学経済学部の教育・学生支援に對しまして、後援会の皆さまより多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。学部改組を機に教育体制の整備を進めており、今後も学生が安心して学びを深められる環境づくりに教職員一同努めてまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

入試・広報担当

福浦 厚子

皆様の平素よりのご協力に感謝申し上げます。今年度経済学部入試と広報を担当いたします。経済学部では昨年度夜間主廃止や特別選抜の変更等一連の制度変更にて区切りがつかしました。学術発展や社会に貢献できる人材を学生として迎えることができるよう、また大学院進学に繋がる人材も見通した入試や広報ができればと考えております。よろしくお願いいたします。

大学院経済学研究科副研究科長挨拶

内藤 雄志

伝統ある経済学専攻と経営学専攻に加え、前年度より日本初の学位「修士（経営分析学）」を授与する経営分析学専攻を開設しました。今年度からは、ビジネス・インサイト養成プログラムも始まり、多様な学生に応じた柔軟な教育体制の構築を進めています。後援会の皆様の継続的なご支援に深く感謝申し上げます。

データサイエンス学部副学部長挨拶 総務・企画担当

佐藤 健一

3年目になります。学内に設置された電子ピアノ、自転車の空気入れ、給水機、サークルベンチ、学生の資格取得に対する報奨金、国際交流への補助など後援会からのご支援をとても身近に感じようになりました。役員の皆様と直接意見交換できる機会を楽しみにしております。本年度もどうぞ宜しくお願い致します。

学務・学生生活担当

松井 秀俊

今年度より副学部長を務めることになりました。学部設置から8年、今年度より学部の定員が150名に増員され、社会における本学部の役割がますます重要なものになったと認識しております。そのような状況において、学生が満足に勉学に励める環境を整えていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

入試・広報担当

佐藤 正昭

今年度、入試担当を拝命しております。昨年度は、学部及び研究科の大幅な定員増、学部の選抜方法の変更もありましたが、志願者数も大幅に増加し、無事に入學試験を実施でき、安心しております。今年度も、気を緩めることなくしっかりと入試業務を遂行していきたいと考えております。ご支援よろしくお願い申し上げます。

大学院データサイエンス研究科 副研究科長挨拶

村松 千左子

副研究科長として大学院の学務を担当しております。本年度で2年目迎えました。今年度より博士前期課程の定員が80名に拡充され、学生の多様性も一層豊かになっております。教員数も増員され、サポート体制の強化に努めるとともに、カリキュラムの見直しなども進めて参ります。引き続きご支援をお願い申し上げます。

経済学部



後列：内藤副研究科長 金谷副学部長 佐野副学部長
前列：岡本研究科長 能登学部長 福浦副学部長

データサイエンス学部



後列：村松副研究科長 松井副学部長
佐藤健一副学部長 佐藤正昭副学部長（左から順に）
前列：飯山研究科長 市川学部長 深谷センター長

令和7年度入学式

4月4日、大津市のびわ湖ホールにて令和7年度滋賀大学入学式を挙行了しました。今年度は教育学部241名、経済学部443名、データサイエンス学部160名、大学院教育学研究科専門職学位課程21名、大学院経済学研究科博士前期課程28名、大学院経済学研究科博士後期課程3名、大学院データサイエンス研究科博士前期課程82名、大学院データサイエンス研究科博士後期課程6名、特別支援教育専攻科8名の計992名が新たな学生生活をスタートしました。



竹村学長からの式辞

式典は、新入生代表による入学生宣誓から始まり、来賓の祝辞、在学生による歓迎の辞、役職員の紹介の順で進行しました。竹村学長からは「世界は未曾有の変化に見舞われています。しかし、大きな変化の時代

今年度の式典は、例年の二部制ではなく、全入学生を対象に一斉に開催しました。全ての学部・大学院・専攻科の新入生が一堂に会することで、より一体感を感じる式となりました。また、出席できなかった方に向けて式典のライブ配信を行いました。多くの保護者・ご来賓の皆さまにご来場いただき、晴れの日に共にお慶びいただきました。



会場の様子

は、不安の時代であるとともに、可能性の開けた時代です。高校までの学びでは、大学入試への準備もあり、皆さんは正解のある問題を解き、正解を早く見つけるような訓練をしてきたと思います。しかしながら、未来がどうなるかについて唯一の正しい答えがあるわけではありません。大学での学びを通じ、あり得るさまざまな未来の中から、皆さんが未来を選びとっていくのです。滋賀大学の中期目標のキーワードは未来創生大学です。皆さんが滋賀大学での学びを通じて、未来を切り拓く人材に育ってくれることを願っています。」と式辞がありました。

また、在学生代表からは「今日こ



入学生宣誓

の日から、皆さんは滋賀大生です。入学式を終えたその瞬間から、新しい世界が皆さんを迎え入れます。ぜひ、その世界を存分に楽しみ、自らの可能性を広げてください。そして、私たちが在校生と共に、新しい世界を切り拓いていきましょう。在校生一同、皆さんと出会える日を心待ちにしております。これからの皆さんの活躍を心より期待しています。」と歓迎の辞が述べられました。

新入生の皆さんが今後、本学で勉学に励み、充実した大学生活を送ることを願っています。



在校生代表による歓迎の辞

学生活動だより

日本学生経済ゼミナール主催

第70回インター大会

経済学部 5チーム予選突破

全国の経済学部・経営学部・商学部の学生を対象とした日本で最大規模の学術大会（通称「インター大会」）で、滋賀大学のチームが見事予選を突破し、決勝大会に進みました。

学生は3年生を中心に春学期（4月～7月）と夏休み（8・9月）の半年以上をグループ研究につき込み、内容や発表技術について競い合います。

大会は予選と決勝の2回行われます。予選は研究分野ごとに分科会として行われ、各分科会で1位だったチームのみが決勝へ進むことができます。（令和6年度は2位まで決勝進出可）

予選大会85チーム↓18チーム予選突破（18チーム中、滋賀大学は佐野ゼミ1・吉田ゼミ1・澤木ゼミ3チーム計5チーム）

澤木ゼミCチーム 受賞

「日本の成長戦略を支える若者雇用の未来―滋賀県の地方創生と就労定着に焦点を当てて―」

テーマの選定理由

地方人口減少を止めるためには、若者を中心とした東京一極集中の流れを変えることが不可欠である。進学や就職が地方から首都圏へ若者が移動する主要な背景要因として挙げられる。就職を控えた地方国立大学の生の視点から、滋賀県の地方創生と若者の就労定着に焦点をあて、日本の成長戦略を支える若者雇用の未来について新しい価値創造を目指したいと考えたため。



澤木ゼミ Cチームの皆さん

学生の感想

それぞれのチームが、自分たちで生み出した研究目標に対して、多くの文献研究やデータ収集や分析、行政や国内外の事業所の調査に関わり、様々な経験を経て各々が自分自身を多方面から大きく成長させた機会となりました。この貴重な仲間たちとの協働経験を活かし、今後も努力する姿勢を忘れずに何事にも取り組んでいきます。この度はご支援を頂きありがとうございます。



決勝大会当日の会場校
東北学院大学五橋キャンパス正門にて

教員からの応援

いつも後援会様には、学生の課外活動に温かいお見守りとご支援をいただきましてありがとうございます。冒頭説明文にもありますように、本大会は、全国の国公私立の大学で構成される学生主体の学術団体である日本学生経済ゼミナールが、毎年大会開催校を順に決め予選会と

決勝大会を開催し、70年以上の歴史があります。半世紀前に本学に在籍された陵水会の卒業生の方々も参加された伝統を継承すべく、経済学部からは毎年複数のゼミが参加します。ここ数年の新型コロナ感染症拡大により、学生の対面による課外活動が自粛を余儀なくされた中、今年度は、決勝大会を対面復活させ、学生も緊張感を持って慣れない遠征に臨みました。予選大会では、85チームのうち、決勝に進める予選突破の権利を18チームが獲得し、そのうち滋賀大学は5チームという高い率で難関を勝ち抜きました。就職活動が早期化する中、どのゼミの学生も、アルバイトや進路活動の機会を犠牲にしながら決勝大会に向けた課外活動に時間を充て、夏の部活や秋の学祭の行事にも参加しながら、驚くほどの行動力で研究発表の準備を進めました。ゼミの枠を越えた滋賀大学の学生の高いポテンシャルを感じました。

今後も、教員一同、このような学術大会に向けた学生の主体的な研究活動を支援し、滋賀大学の発展に貢献していきたいと考えます。この度は温かいご芳心を賜りますこと、心より御礼申し上げます。学生の身分である学業を通じて、大学に求められている学士力と社会人基礎力の涵養に真摯に向かいたいと存じます。今後ともどうぞお導きのほどお願い申し上げます。

令和7年度 入学状況

入学試験状況

学 部 名	定員	志願者	受験者	合格者	入学者
経済学部	410	2,642	1,664	498	421
3 年次編入 (※)	15	71	71	25	20
データサイエンス学部	150	625	456	175	158
3 年次編入	5	4	4	4	2

【大学院】

※ 臺中科技大学の3年次編入4名を含む

研 究 科 名		定員	志願者	受験者	合格者	入学者
経済学研究科	博士前期課程	32	49	38	30	28
	博士後期課程	3	3	3	3	3
データサイエンス研究科	博士前期課程	80	93	93	88	82
	博士後期課程	3	7	7	6	6

滋賀大学入学者一覧

経済学部			441 (※)
データサイエンス学部			160
教育学部			241
大 学 院	経済学研究科	博士前期課程	28
		博士後期課程	3
	データサイエンス研究科	博士前期課程	82
		博士後期課程	6
	教育学研究科	教職大学院	21
特別支援教育専攻科			8
入学者合計			990 (※)

* マレーシア政府派遣留学生等2名は含まない

都道府県別入学者数(3年次編入は除く)

【経済学部】

北海道	3	0.7%	石川県	10	2.4%	奈良県	18	4.3%	福岡県	4	1.0%
岩手県	1	0.2%	福井県	15	3.6%	和歌山県	1	0.2%	佐賀県	2	0.5%
宮城県	1	0.2%	長野県	3	0.7%	鳥取県	9	2.2%	長崎県	3	0.7%
茨城県	2	0.5%	岐阜県	42	10.0%	島根県	3	0.7%	熊本県	1	0.2%
栃木県	2	0.5%	静岡県	7	1.7%	岡山県	11	2.6%	大分県	1	0.2%
群馬県	1	0.2%	愛知県	64	15.0%	広島県	5	1.2%	宮崎県	4	1.0%
埼玉県	3	0.7%	三重県	16	3.8%	山口県	3	0.7%	鹿児島県	3	0.7%
千葉県	3	0.7%	滋賀県	46	11.0%	徳島県	1	0.2%	沖縄県	5	1.2%
神奈川県	3	0.7%	京都府	35	8.3%	香川県	2	0.5%	留学生	11	2.6%
新潟県	2	0.5%	大阪府	28	6.7%	愛媛県	10	2.4%			
富山県	5	1.2%	兵庫県	30	7.1%	高知県	2	0.5%	合計	421	100.0%

【データサイエンス学部】

北海道	2	1.3%	福井県	3	1.9%	大阪府	21	13.3%	香川県	4	2.5%
栃木県	1	0.6%	山梨県	1	0.6%	兵庫県	11	7.0%	福岡県	4	2.5%
群馬県	1	0.6%	長野県	1	0.6%	奈良県	3	1.9%	長崎県	2	1.3%
埼玉県	1	0.6%	岐阜県	4	2.5%	和歌山県	1	0.6%	大分県	1	0.6%
東京都	4	2.5%	静岡県	5	3.2%	鳥取県	1	0.6%	鹿児島県	4	2.5%
神奈川県	2	1.3%	愛知県	15	9.5%	岡山県	4	2.5%	沖縄県	2	1.3%
新潟県	2	1.3%	三重県	7	4.5%	広島県	1	0.6%			
富山県	2	1.3%	滋賀県	20	12.7%	山口県	2	1.3%			
石川県	4	2.5%	京都府	20	12.7%	徳島県	2	1.3%	合計	158	100.0%

大学紹介

経済学部の現況

経済学部長

能登真規子

● 入学者選抜のふりかえり

入試出願時の学科選択を不要とする学部改組を行ってから3度目の入学者を迎えました。今年度の1年次への入学者は、私費外国人留学生（定員10名）11名を含め、421名でした（定員410名）。他に、3年次編入学生が16名（定員15名）、台中科技大學ダブルディグリープログラム編入学生が4名（定員・若干名）入学しました。

経済学部の入学者選抜方式には、実施順に、総合型選抜資格検定型（30名）、学校推薦型選抜（A40名、B20名）、社会人選抜（6名）、私費外国人留学生選抜（10名）、一般選抜（前期日程164名）、一般選抜（後期日程140名）があります（カッコ内は定員）。夜間主コースは今年度、令和7年度入学者選抜より募集停止と

なっています。

一般選抜の志願者は、前期日程、後期日程を合わせて、2422名でした。一般選抜の受験者は1445名、合格者は392名で、倍率は前期日程の国外型が6.1倍、数外型が3.4倍、後期日程の国外型が4.6倍、数外型が5.0倍で、高い水準を維持しています。

● レイトスペシヤライゼーション

今春進級した3年次の学生に対して、初めての専攻選抜を行いました。全460名の学生が経済専攻76名（17%）、経営専攻257名（56%）、社会システム専攻127名（28%）に分かれました。専攻別の厳しい定員管理は行っていない。

2年前の入学時に行ったアンケート「新入生意識等調査」で示されていた割合と若干異なっていますが、入学後の学びにより、各自、方針を決めることができたものと理解します。

改組前の経済学科、ファイナンス学科、企業経営学科、会計情報学科、社会システム学科の5学科体制

であった頃から、経済学部は垣根を超えて学ぶことに支障のないしくみでしたが、専攻制への移行後も同様に、履修上の制約はほぼありません。自身の専攻の専門科目を12科目24単位取得していれば、専攻にかかわらず、自由に履修を進めることができます。

● 大学院経済学研究科

大学院では、経済学研究科博士前期課程（定員32名）に28名（経済学専攻7名、経営学専攻12名、経営分析学専攻9名）、博士後期課程に3名（定員3名）が入学しました。

企業活動や消費生活等のデータを分析し、経済・経営の専門知識と組み合わせる業務革新を図ることを学ぶ経営分析学専攻（MBAN）は、2年目を迎えました。企業から派遣された社会人が多数を占めるものの、5年一貫教育プログラム（学部早期卒業コース、学部3年+院2年）による学生を含め、経済学部からの進学者も出てきました。喜ばしいことです。

文部科学省の人文・社会科学系

ネットワーク型大学院構築事業国際連携型の採択を受け、「データ×アーツ×国際連携による新たな総合知に基づくビジネス・インサイト養成プログラム」を開始しました。各専攻ともプログラムへの参加登録ができます。英語による講義科目や国際連携実践科目のほか、滋賀大学経済学部の強みである人文・社会科学の科目群も充実しています。現場・現物・現実を踏まえた高い問題意識、洞察力を鍛えます。

● 附属史料館

今年の春季展示は「史—史料館75年のあゆみ—」と題して開催されました。滋賀大学は1949（昭和24）年に新制大学として発足しましたが、経済学部附属史料館は、その翌年に設立されています。近江地域史研究と近江商人研究の拠点で、1952年（昭和27）年には博物館法による博物館相当施設の指定も受けています。

秋季展示や8月のオープンキャンパスに合わせたミニ展示も予定されていますので、機会がありましたら、ぜひ、お立ち寄りください。

データサイエンス学部の現況

データサイエンス学部長

市川 治

卒業・修了したときに、社会や会社への具体的な問題を解くスキルを身につけられる。それこそが、データサイエンス学部・大学院を志向すべき理由です。今年も、志を同じくする精鋭たち、学部158名、大学院前期（修士）82名、後期（博士）6名が入学してきました。また、今年度からデ3年次編入も開始され、2名が3年生として合流しました。

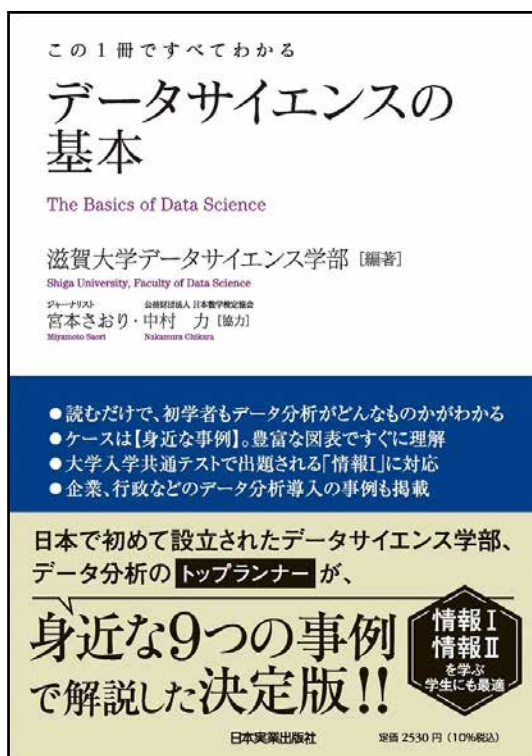
昨年度と比較して、学部の入学定員が50名増え、大学院（修士）の定員が30名増えました。そのせいか、今年は新学期が始まったときのキャンパスの活気を一段と感じます。サークルの勧誘活動も盛んで、コロナ禍の沈滞したムードは既に一扫されました。

学部の入学定員が、約1.5倍になったにも関わらず、受験倍率は全く落ちていません。今年度もとて優秀な新入生が集まりました。受験生の中でデータサイエンスという学問の認知度が上がってきているこ

と、そして、もちろん、私たちの学部も教育内容に磨きをかけ、良い成果は積極的に世の中に発信していくことに努めてきたことが背景にあると考えています。

その発信の一つが、昨年8月に出版されたこちらの書籍です。

この本の実質的な執筆者は卒業生や在学生です。彼らが、学部で行った演習や研究が事例として紹介されています。「データサイエンス学部ではいったいどんな演習が行われているのか?」といった質問をよくいただきますが、この本は、そんな質問にみごとに答えています。



(写真: Amazonより引用)

さて、データサイエンス学部では、データサイエンス・A Iイノベーション研究推進センターを通じて、さまざまな企業と共同研究を行っています。2月には、DEML（帝国データバンクと滋賀大学データサイエンス学部の共同研究センター）の成果発表会があり、そこでは、学部の4年生数名がその共同研究に参画していて、彼らがその発表者となって登壇していました。研究内容も卒論レベル以上のものがあり、本当にすばらしいと思いました。このような企業連携に学生が積極的に参画していく例は他にも数多くあり、頼もしいです。

定員も増え、また、志の高い学生が多く集まるようになった現在、我々教員の課題は学生たちの多様な興味に応じていくことです。今年度の春学期は23個の自主ゼミが企画されました。自主ゼミというのは、主に1・2年生を対象としたテーマ別の学習会のようなものです。卒業単位にはならないに関わらず、これまで多くの学生が参加しており、データサイエンス学部の一つの文化となっています。

講義においても新たな展開があります。「ゲームプログラミング入門」が新規に開講されます。また、気象データに関しては、気象庁が認定する「気象データアナリスト育成講座」が開設されます。また、生成A I、ネットワーク分析や化学データに関する先進的な講義は、昨年度から一般科目として開講されるようになり、受講しやすくなっています。

後援会の皆様からこれまで以上にお知恵を拝借することになると思いますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

就職活動と支援

就職支援体制について

教育・学生支援機構 特命教授

入江 直樹

平素より学生の就職支援に格別のお力添えを賜り心より御礼申し上げます。

彦根キャンパスにおける学生への就職支援体制についてご説明させていただきます。彦根キャンパスにおいては経済学部、データサイエンス学部で学ぶ学生、及び経済学研究科、データサイエンス学研究科で学ぶ大学院生に対しまして各自が選択する進路を目指すための様々な情報を提供しております。外部環境の変化、学生気質の変化に対応しながらすべての学生が希望する進路選択ができることを目標として様々なプログラムを提供いたしております。これらのプログラムをご紹介させていただきます。

大学が整備している就職支援体制

本学では学生の就職活動をサポートするために様々なシステム、制度を導入しております。これらによって学生が効果的、効率的に就職活動を進めることができます。また学生の就職活動を専門演習担当教員、就職委員会、就職支援室、学生支援課がこれをサポートします。それでは就職活動をサポートするシステム、

制度をご紹介します。

●滋賀大学キャンパス教育支援システム (SUCCESS: Shiga University's Campus Computer Education Support System)

就職支援室ではこのシステムを利用して就職情報やインターンシップ情報についてタイムリーに情報を提供します。刻々と変化する外部情報、学内での企業説明会、企業からの連絡、滋賀大学だから持ち得る求人情報などを学生に発信しております。また自ら起業を志す学生への支援もおこなっております。学生とのコミュニケーションツールとして効果的に機能しているシステムです。

●彦根キャンパス求人情報提供システム

自宅や下宿など彦根キャンパス外からもアクセスできる彦根キャンパス在学生専用の情報システムです。滋賀大生を採用したいという企業の求人情報とインターンシップに関する情報などを提供します。学生が企業研究のための資料として活用することもできます。客観的で正確な情報である求人票を軸に就職活動を進めることを指導しております。

●就職支援室での就職相談

進路・就職に関する様々な相談に対応しています。毎日9時30分から16時30分まで受け付けています。面談方法は対面とオンラインとのハイブリッド形式で実施しております。主な相談内容は

◆進路選択についての相談

◆個人面接、集団面接の模擬訓練

◆エントリーシート、履歴書の添削

◆求人票送付企業の紹介

などです。時間内であれば予約なしで対応しております。昨年度は434名の学生から1135件の相談がありました。

●就職支援室での情報提供

◆企業・団体からの求人情報・企業説明会情報をタイムリーに提供しています。

◆就職活動関連の書籍・雑誌・日本経済新聞等が自由に閲覧できます。

◆大学連携及び公募型インターンシップに関する情報を整理して提供しています。

◆公務員、大学院、公認会計士、税理士等の専門職に関する情報を提供しています。

◆1回生から4回生まで幅広く実施されるキャリア教育や就職ガイダンスなどの充実した独自の支援プログラムこれらのシステム・制度を用いて学生を支援して参ります。

滋賀大学卒業生による就職支援体制

本学の同窓会組織である「陵水会」のバックアップを中心にして、下記のような支援が準備されています。

●学内合同企業説明会

本年は3月に対面で実施し、卒業生が就職をしてお世話になっている企業で、有名大手企業中心に80社がご参加くださいました。4日間で延べ600人の学生が参加しまし

た。

●陵水懇話会

卒業後25年の先輩方を中心に10数名にお見えいただき、業界紹介を中心に働くということについてお話しいただいております。

●陵水会計人会懇談会

伝統的に卒業生の公認会計士とか税理士を多数輩出しておりますが、本学の学生たちにも志望者は沢山います。先輩たちの現役の会計士・税理士の方をお招きして、会計士・税理士の仕事、勉強の仕方などについて忌憚のない意見交換をしていただく懇談会です。

《支部別就職支援行事の開催》

東京支部が主となり現役学生が東京で就職活動などの滞在中に休憩できるスペースを提供していただいております。また若手OB・OGの連携を深めるイベントを企画していただいております。

これら以外にも学生のOB・OG訪問など様々なところで卒業生の方々のご支援をいただいております。

本学の卒業生は、前身の旧制彦根高等商業学校時代からの約100年の伝統を受け継ぎ、金融・保険・商業・製造業・IT業界等全国的規模で経済界に進出し活躍しています。が、官公庁・教育界・学界へも進出していきます。

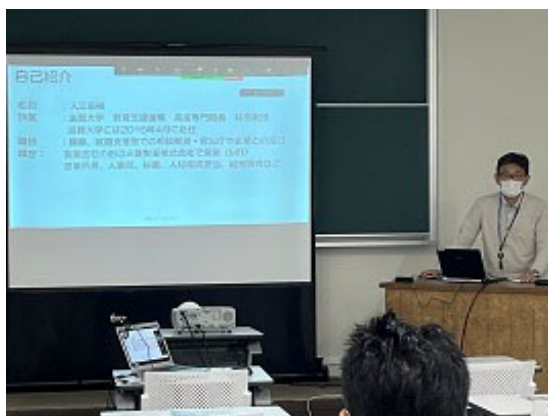
就職状況

令和6年度就職状況について

教育・学生支援機構 特命教授

入江 直樹

令和6年度はコロナ対応時に使用したオンラインツールを継続使用することで効果的、効率的な採用活動ができるということで、オンライン説明会、オンライン面接がその主となって参りました。最終面接だけ対面で実施される傾向です。学生が提出するエントリーシートにおいてもChatGPTを使用して作成する者も出てきました。一方で企業側も一次面接はオンラインでのAI面接というところもありました。ただどのような手段で選考が為されましても優秀な学生が高い成果を出すということには変わりないものがあります。



就職活動ガイダンスの様子

【データサイエンス学部生の活動】

データサイエンス学部生に対する求人はデータ分析専門企業、製造業、情報IT業、通信インフラ業など様々な業界から様々な職種で頂いています。学生も技術系専門職を目指す者、技術系総合職を目指す者、事務系総合職を目指す者と多種多様です。しかし、まだまだ多くの企業では「データサイエンスって何?」「データサイエンスとはどんな学問なの?」と聞かれることがあります。継続してデータサイエンスとは

どのような学問なのか、どのような領域で貢献できるのか、を大学側から発信し続けることが重要であることを再認識しております。これらの活動によりさらに多くの企業から求人頂くことができると考えます。

【経済学部生の活動】

前年同様にIT業界を志す学生が多くなっております。データサイエンス学科科目を副専攻とし、統計検定2級を取得する経済学部生も徐々に増加傾向にあります。また経済学部卒業後にデータサイエンス研究科に進学を考える学生もおりました。

これらの学生以外に、全国転勤をものともせず金融機関全国総合職を目指す者、国家の中心で働くために国家公務員総合職を目指す者、地元に戻り地域創生に関わりたいという者、など様々です。これを多様化という安易な言葉で表現するのは不適當で、学生個々が自分自身のキャリアを真剣に考えて家族と腹を割って話し合い、自らの進路を自らの意志で決めている、そんな状況にあるように感じます。

【最後に】

生成AIの登場で様々な物事が大きく変わろうとしています。本学部生においても全ての学生がAIリテラシーを身に付け、これらの新たな環境に振り回されるのではなく、主体的にこれらを活用し新たな場面を作り出していく、そんな時代の流れではないかと思われまします。このような激しい外部環境の変化を正確にタイムリーにキャッチすることで世の中のフロンティアナーとしての役割を果たすことができるのではないかと考えます。引き続き皆様方のご支援ご厚情を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



○就職先内訳(産業別・業種別)

	会 社 名	計	男	女
143	㈱電通総研	1	1	
144	東邦ガス情報システム㈱	1	1	
145	㈱ドコモCS関西	1	1	
146	㈱ドコモCS東海	1	1	
147	㈱トヨタシステムズ	1	1	
148	㈱トレンドアート	1	1	
149	ナビオコンピュータ㈱	1	1	
150	㈱日経BP	1	1	
151	㈱ニッセイコム	1	1	
152	ニッセイ情報テクノロジー㈱	2	1	1
153	日鉄ソリューションズ関西㈱	1	1	
154	㈱日本総研情報サービス	1	1	
155	日本ビジネスシステムズ㈱	1	1	
156	㈱nint	1	1	
157	ネソット㈱	1	1	
158	㈱日立システムズ	1	1	
159	㈱日立ソリューションズ	1	1	
160	ブリヂストンソフトウェア㈱	1	1	
161	マールラインズ㈱	1	1	
162	みずほリサーチ&テクノロジーズ㈱	1	1	
163	㈱メイテック	1	1	
164	ユニバーサルコンピューター㈱	1	1	
165	㈱読売新聞大阪本社	1	1	
166	㈱ラプラス・システム	1	1	
167	㈱サカイ引越センター	1	1	
168	山九㈱	1	1	
169	三甲㈱	1	1	
170	㈱住友倉庫	1	1	
171	センコー㈱	1	1	
172	㈱ソニー・ミュージックソリューションズ	1	1	
173	西日本旅客鉄道㈱	4		
174	日本通運㈱	1	1	
175	日本郵船㈱	2		
176	日本郵便㈱	1	1	
177	北海道旅客鉄道㈱	1	1	
178	三菱倉庫㈱	1	1	
179	㈱メイコン	1	1	
180	伊藤忠メタルズ㈱	1	1	
181	井上鋼材㈱	1	1	
182	㈱岡谷鋼機	1	1	
183	鐘通㈱	2		
184	キグナス石油㈱	1	1	
185	コンドーテック㈱	1	1	
186	坂商事㈱	1	1	
187	㈱三栄コーポレーション	1	1	
188	㈱ジェイアンドシー	1	1	
189	㈱スズケン	1	1	
190	双日㈱	1	1	
191	㈱トップ	1	1	
192	トラスコ中山㈱	1	1	
193	ナイス㈱	1	1	
194	㈱日伝	1	1	
195	日本アルコール販売㈱	1	1	
196	㈱ネクスティエレクトロニクス	1	1	
197	㈱本総業㈱	1	1	
198	㈱八興	1	1	
199	不二鋼材㈱	1	1	
200	㈱フジテックス	1	1	
201	フルサット・マルカホールディングス㈱	1	1	
202	丸紅㈱	1	1	
203	三菱商事㈱	1	1	
204	㈱山一ハガネ	1	1	
205	小売業			
206	イオンリテール㈱	1	2	
207	㈱石川トヨベツカローラ	1	1	
208	㈱光洋	1	1	
209	㈱三洋堂ホールディングス	1	1	
210	滋賀三菱自動車販売㈱	1	1	
211	㈱シュゼット・ホールディングス	1	1	
212	㈱ストライプインターナショナル	1	1	
213	㈱大黒屋	1	1	
214	㈱ニトリホールディングス	1	1	
215	㈱松屋	1	1	
216	㈱ローソン	1	1	
217	金融(銀行)			
218	㈱愛知銀行	1	1	
219	㈱阿波銀行	1	1	
220	㈱京都銀行	1	3	
221	㈱滋賀銀行	1	1	
222	㈱静岡銀行	1	1	
223	㈱十六フィナンシャルグループ	4	4	
224	㈱東京スター銀行	1	1	
225	㈱南都銀行	1	1	
226	日本銀行	1	1	
227	㈱広島銀行	1	1	
228	㈱福岡銀行	1	1	
229	㈱三井住友銀行	1	1	
230	三井住友信託銀行㈱	1	1	
231	㈱三菱UFJ銀行	1	1	

	会 社 名	計	男	女
58	村田機械㈱	1	1	
59	㈱安川電機	1	1	
60	ヤンマーホールディングス㈱	1	1	
61	㈱ユーシン精機	1	1	
62	電子部品等製造			
63	イビデン㈱	1	1	
64	京セラ㈱	1	1	
65	㈱SCREENセミコンダクターソリューションズ	1	1	
66	パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション㈱	1	1	
67	㈱福井村田製作所	1	1	
68	電気・情報通信製造			
69	㈱エネゲート	1	1	
70	㈱ダイヘン	1	1	
71	東京エレクトロン㈱	2	2	
72	㈱東芝	1	1	
73	㈱ニブロン	1	1	
74	㈱パッファロー	1	1	
75	パナソニックホールディングス㈱	1	1	
76	浜松ホトニクス㈱	1	1	
77	古野電気㈱	1	1	
78	三菱電機㈱	1	1	
79	山菱電機㈱	1	1	
80	横河電機㈱	1	1	
81	リコーITソリューションズ㈱	1	1	
82	輸送用機械製造			
83	㈱アイシン	3	1	2
84	大塚産業ソーイング㈱	1	1	
85	新東工業㈱	1	1	
86	スズキ㈱	1	1	
87	㈱ティアド	1	1	
88	㈱デンソー	1	1	
89	㈱デンソーテン	1	1	
90	トヨタ自動車㈱	1	1	
91	㈱豊田自動織機	1	1	
92	トヨタバッテリー㈱	1	1	
93	本田技研工業㈱	1	1	
94	㈱モリタホールディングス	2	1	1
95	ヤマハ発動機㈱	1	1	
96	その他製造			
97	㈱イトーキ	1	1	1
98	㈱オカムラ	1	1	
99	クラシエ㈱	1	1	
100	ニチハ㈱	1	1	
101	日本電気硝子㈱	1	1	
102	㈱パイロットインキ	1	1	
103	パナソニックハウジングソリューションズ(株)	1	1	
104	ビンゴルフジャパン㈱	1	1	
105	光熱水業			
106	中部電力パワーグリッド㈱	1	1	
107	東邦ガス㈱	1	1	
108	情報通信業			
109	IBM Malaysia Sdn Bhd	1	1	
110	㈱アイレット	1	1	
111	あさかわシステムズ㈱	1	1	
112	アドソル日進㈱	1	1	
113	アビームシステムズ㈱	1	1	
114	㈱内田洋行ITソリューションズ	1	1	
115	㈱エイエエスティ	1	1	
116	エクシオ・デジタルソリューションズ㈱	1	1	
117	SCSK㈱	2	2	
118	㈱エヌユーエス	1	1	
119	エヌユーエス㈱	1	1	
120	㈱NECソリューションイノベータ	1	1	
121	㈱NECサソリューションズ	1	1	
122	㈱NSD	1	1	
123	NSDソリューションズ㈱	1	1	
124	㈱NTTデータNJ	1	1	
125	㈱NTTデータ関西	1	1	
126	㈱NTTデータセキスイシステムズ	1	1	
127	㈱NTTドコモ	2	2	
128	MUS情報システム㈱	1	1	
129	㈱オービック	1	1	
130	㈱オプテージ	1	1	
131	キヤノンシステムアンドサポート㈱	1	1	
132	㈱キューブシステム	1	1	
133	クオリカ㈱	1	1	
134	㈱クラウドワークス	1	1	
135	㈱クロスウェア	1	1	
136	コナミグループ㈱	1	1	
137	JFEシステムズ㈱	2	1	1
138	㈱SHIFT	1	1	
139	Sky㈱	2	1	1
140	住友電工情報システム㈱	1	1	
141	㈱セイノー情報サービス	3	3	
142	ソフトバンク㈱	1	1	
143	㈱ティーガイア	1	1	
144	㈱DTS	1	1	
145	㈱TKC	1	1	
146	㈱TDCソフト	1	1	
147	㈱テスク	1	1	
148	㈱テクノプロ	1	1	

令和6年度就職状況
【経済学部】

令和7年5月1日現在			
	計	男子	女子
卒業生	436	280	156
進学者			
大学院	8	7	1
大学学部等	0	0	0
専修学校等	0	0	0
就職者			
企業就職	364	228	136
公務員	31	24	7
その他	33	21	12

進学先・就職先一覧
【経済学部】

進学先内訳			
	進 学 先	計	男 女
1	大学院 進学		
2	愛知大学大学院 経営学研究科	1	1
3	神戸大学大学院 経営学研究科	1	1
4	滋賀大学大学院 経済学研究科	3	2
5	滋賀大学大学院 データサイエンス研究科	2	2
6	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科	1	1

就職先内訳(産業別・業種別)			
	進 学 先	計	男 女
1	建設業		
2	建設業		
3	建設業		
4	建設業		
5	建設業		
6	建設業		
7	建設業		
8	建設業		
9	建設業		
10	建設業		
11	建設業		
12	建設業		
13	建設業		
14	建設業		
15	建設業		
16	建設業		
17	建設業		
18	建設業		
19	建設業		
20	建設業		
21	建設業		
22	建設業		
23	建設業		
24	建設業		
25	建設業		
26	建設業		
27	建設業		
28	建設業		
29	建設業		
30	建設業		
31	建設業		
32	建設業		
33	建設業		
34	建設業		
35	建設業		
36	建設業		
37	建設業		
38	建設業		
39	建設業		
40	建設業		
41	建設業		
42	建設業		
43	建設業		
44	建設業		
45	建設業		
46	建設業		
47	建設業		
48	建設業		
49	建設業		
50	建設業		
51	建設業		
52	建設業		
53	建設業		
54	建設業		
55	建設業		
56	建設業		
57	建設業		

会社名	計	男	女
18 株式会社豊田自動織機	1	1	
19 バナソニック オートモーティブシステムズ㈱	1	1	
その他製造			
20 任天堂㈱	1		1
光熱水業			
21 大阪ガスネットワーク㈱	1	1	
22 関西電力㈱	1	1	
23 中部電力パワーグリッド㈱	1		1
情報通信業			
24 株式会社朝日新聞社	1		1
25 アビームシステムズ㈱	1	1	
26 岩谷情報システム㈱	1	1	
27 株式会社エヌエス	1	1	
28 株式会社大塚商会	1	1	
29 株式会社オービック	1	1	
30 沖縄日立ネットワークシステムズ㈱	1	1	
31 オムロンソーシアルソリューションズ㈱	1		1
32 株式会社科学情報システムズ	1	1	
33 株式会社セラコミュニケーションシステム㈱	1		1
34 株式会社COEL	1		1
35 株式会社システム計画研究所	1	1	
36 Sky㈱	1	1	
37 株式会社SCREEN ICT ソフトウェア	1		1
38 株式会社セラPOST	1	1	
39 Solal㈱	1	1	
40 株式会社DSR	1		1
41 株式会社トヨタシステムズ	1	1	
42 株式会社新湯放送	1	1	
43 日本電気通信システム㈱	1	1	
44 株式会社Nuco	1	1	
45 バナソニックインフォメーションシステムズ㈱	2	1	1
46 株式会社ソリユーションズ・クリエイティブ	1	1	
47 株式会社フューチャーインフィニティ	1		1
48 株式会社ベリサーチ	1	1	
49 株式会社レアゾン・ホールディングス	1	1	
運輸業・郵便業			
50 近鉄グループホールディングス㈱	1	1	
51 南海電気鉄道㈱	1	1	
卸売業			
52 鈴与商事㈱	1	1	
53 トラスコ中山㈱	1	1	
小売業			
54 タワレコード㈱	1	1	1
55 株式会社ファーストリテイリング	1	1	1
56 株式会社ファミリーマート	1	1	1
金融（銀行）			
57 株式会社SBI新生銀行	1	1	
58 株式会社京都銀行	1	1	
59 株式会社滋賀銀行	1	1	
60 株式会社三井住友銀行	1	1	
金融（その他）			
61 トヨタファイナンス㈱	1	1	1
62 三井住友カード㈱	4	2	2
保険業			
63 第一生命保険㈱	1	1	
その他専門・技術			
64 株式会社東北新社	1	1	
65 株式会社日本総合研究所	1	1	
66 山田コンサルティンググループ㈱	1	1	
複合サービス			
67 全国農業協同組合連合会 兵庫県本部	1	1	
その他サービス			
68 株式会社アウトソーシングテクノロジー	1	1	
69 株式会社マイナビ	1	1	1

会社名	計	男	女
306 株式会社セントラルサービスシステム	1	1	
307 総合警備保障㈱	1	1	
308 株式会社ダイハツビジネスサポートセンター	2	2	
309 株式会社つくろう堺市民球団	1	1	
310 (独)日本貿易振興機構(ジェトロ)	1	1	
311 パーソルビジネスプロセスデザイン㈱	1	1	
312 パーソルファクトリーパートナーズ㈱	1	1	
313 株式会社システム24	1	1	
314 フィグラティブ・ジャパン㈱	1	1	
315 株式会社リクルートスタッフィング キャリアウィング	1	1	
国家公務			
316 金沢国税局	1	1	
317 近畿経済産業局	1	1	
318 近畿地方整備局	1	1	
319 公正取引委員会近畿中国四国事務所	1	1	
320 名古屋国税局	1	1	
地方公務			
321 愛知県庁	1	1	
322 石川県庁	1	1	
323 稲沢市役所	1	1	
324 大阪地方裁判所	1	1	
325 大阪府庁	1	1	
326 大津市役所	1	1	
327 岡山市役所	1	1	
328 京都市役所	3	3	
329 京都府庁	2	1	1
330 津州市役所	2	2	
331 滋賀県庁	2	1	1
332 島根県庁	1	1	
333 杉並区役所	1	1	
334 知立市役所	1	1	
335 長浜市地域おこし協力隊	1	1	
336 名古屋市役所	3	3	
337 彦根市役所	1	1	
338 兵庫県庁	1	1	
339 津州市役所	1	1	

令和6年度就職状況 【データサイエンス学部】

		令和7年5月1日現在		
〇進路別内訳		計	男子	女子
卒業生		93	69	24
進学者	大学院	17	16	1
	大学学部等	0	0	0
	専修学校等	0	0	0
就職者	企業就職	74	51	23
	公務員	0	0	0
その他		2	2	0

進学先・就職先一覧 【データサイエンス学部】

〇進学先内訳		計	男	女
進 学 先				
大学院 進学				
1 滋賀大学大学院 データサイエンス研究科		14	13	1
2 奈良先端科学技術大学院大学		3	3	

〇就職先内訳（産業別・業種別）		計	男	女
会 社 名				
食料・飲料等製造				
3 日清食品ホールディングス㈱		1	1	
印刷・関連産業				
4 NISSHA㈱		1	1	
化学・石油等製品製造				
5 石原ケミカル㈱		1	1	
鉄鋼・非鉄金属等製造				
6 YKK㈱		1	1	
はん用・業務用製造				
7 株式会社シグマ		1	1	
8 日立グローバルライフソリューションズ㈱		1	1	
9 株式会社日立建機ティエラ		2	1	1
10 フジテック㈱		1	1	
11 ヤンマーホールディングス㈱		1	1	
電子部品等製造				
12 株式会社田製作所		3	1	2
13 和歌山太陽誘電㈱		1	1	
電気・情報通信製造				
14 オムロン㈱		1	1	
15 セイコーエプソン㈱		1	1	
輸送用機械製造				
16 株式会社アイシン		1	1	
17 株式会社デンソーテン		1	1	

会社名	計	男	女
230 株式会社みなと銀行	2	2	
231 株式会社そな銀行	2	2	
金融（協同組織）			
232 尼崎信用金庫	1	1	1
233 岡崎信用金庫	1	1	1
234 京都中央信用金庫	1	1	
235 福井県農業協同組合	1	1	
金融（証券）			
236 SMBC日興証券㈱	3	2	1
237 みずほ証券㈱	2	2	
金融（その他）			
238 アセットマネジメントOne㈱	1	1	
239 大分県信用保証協会	1	1	
240 株式会社シー・アイ・シー	1	1	
241 JA三井リース㈱	1	1	
242 滋賀県信用保証協会	1	1	1
243 (独)住宅金融支援機構	1	1	
244 住友三井オートサービス㈱	1	1	1
245 株式会社日本政策金融公庫	2	2	
246 株式会社日本政策投資銀行	1	1	1
247 株式会社ビューカード	1	1	
248 株式会社プレミアグループ	1	1	
249 三井住友トラスト・バナソニックファイナンス㈱	1	1	1
保険業			
250 あいおいニッセイ同和損害保険㈱	3	1	2
251 朝日生命保険(相)	1	1	
252 住友生命保険(相)	1	1	
253 損害保険ジャパン㈱	1	1	
254 大同生命保険㈱	1	1	
255 日本生命保険(相)	1	1	
不動産・賃貸業			
256 イオンモール㈱	2	2	
257 NITアーバンパブリックサポート㈱	1	1	
258 株式会社エルアイシー	1	1	1
259 大東建託㈱	1	1	1
260 日本駐車場開発㈱	1	1	
261 株式会社ネクサスエージェンツ	1	1	
262 三井住友トラスト不動産㈱	1	1	1
263 株式会社メルディア	1	1	
物品賃貸業			
264 ヤマトリース㈱	1	1	
法務			
265 (弁)心	1	1	
その他専門・技術			
266 アクセス㈱	1	1	1
267 アクセンチュア㈱	2	1	1
268 株式会社アビスト	1	1	
269 EY新日本有限責任監査法人	2	1	1
270 大辻税理士法人	1	1	
271 株式会社オールフロンティア	1	1	1
272 京都税理士法人	1	1	
273 税理士法人クオリティ・ワン	1	1	
274 税理士法人Grow Up	1	1	1
275 コグラフ㈱	1	1	1
276 株式会社TKC	1	1	1
277 デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー(合同)	1	1	
278 株式会社東北新社	1	1	
279 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	1	1	1
280 PwC Japan有限責任監査法人	1	1	
281 株式会社ピーツ	1	1	1
282 株式会社船井総合研究所	1	1	1
283 ベンチャーサポート税理士法人	1	1	
284 ベンチャーサポート相続税理士法人	1	1	
285 有限責任監査法人トーマツ	1	1	1
宿泊・飲食			
286 くら寿司㈱	1	1	1
287 株式会社ゼンショーホールディングス	1	1	1
288 日本マクドナルド㈱	1	1	
289 株式会社プレナス	1	1	
生活関連サービス			
290 株式会社エイチ・アイ・エス	1	1	1
291 株式会社ベストプライダル	1	1	1
292 マリオクラブ㈱	1	1	1
293 株式会社LIFULL	1	1	1
その他教育			
294 (学)河合塾	1	1	1
医療・保健			
295 (独)地域医療機能推進機構	1	1	1
社会保険・福祉			
296 (福)明知会	1	1	1
297 日本年金機構	2	2	2
複合サービス			
298 ビガーアシスト協同組合	1	1	1
その他サービス			
299 株式会社irodas	1	1	1
300 エムスリーキャリア㈱	1	1	
301 キャムコムグループ	1	1	
302 株式会社クイック	1	1	1
303 (独)国際協力機構(JICA)	1	1	
304 株式会社清光社	2	2	
305 株式会社セブテニ・ホールディングス	1	1	

後援会資格取得等報奨
制度について

「滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度」は、スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生諸君の日頃の勉学等を支援し、資質の向上に資することを目的に、平成26年度から開始した制度です。下表に記載しているサポート対象基準を満たすことにより、その功績をたたえ報奨金を給付するもので、報奨された学生からは「更なるステップアップのための資金」としたい。」等との頼もしい発言もあり、今後も、多くの学生諸君からの応募を期待しております。

学生諸君には、別途、学内においてお知らせしていますが、保護者の皆さまにおかれましても、ぜひ本制度をお子様にお伝えいただきたく存じます。

今後、より良き制度に改善して行きたく、会員の皆さまからのご意見等をお待ちしております。

【お問い合わせ】
滋賀大学経済学部・データサイエンス学部共通事務部総務・企画係
TEL 0749-2711030

令和7年度 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨金申請要項

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会（以下「後援会」という。）では、在籍する学生の勉学等を支援するため、後援会資格取得等報奨制度に基づき、在籍期間中に後援会が定める基準を満たした者に対して、報奨金を給付します。申請手続等は、次のとおりです。

1. 対象者
経済学部、データサイエンス学部及び経済学研究科、データサイエンス研究科の正規の課程に在籍する学生で（休学中を含む。）在籍期間中に、後援会が定める基準を満たした者
ただし、後援会費を入学年度の9月末日（秋学期入学の場合は、入学年度の12月末日）までに納入していない場合は対象としません。
2. 申請基準等
以下のとおりとします。ただし、報奨額については、年度毎の申請者総数に基づき、以下に示す報奨額を上限とし予算の範囲内において決定しますので、減額する場合があります。

			単位：円	
分類	サポート対象事項	基準	報奨額 (上限)	
資格・認定試験	1.日商簿記検定試験	「1級」合格者	70,000	
	2.税理士試験 (申請は、基準①、②のいずれか1回に限る。)	①会計学に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	30,000	
		2科目同時合格者	50,000	
		②税法に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	40,000	
	3.公認会計士試験	「短答式試験」合格者	50,000	
		「論文式試験」合格者	100,000	
	4.中小企業診断士	資格取得者	50,000	
	5.証券アナリスト試験	「第1次レベル試験」合格者	30,000	
		「第2次レベル試験」合格者	40,000	
	6.応用情報技術者試験	合格者	30,000	
	7.情報処理技術者資格(高度試験)	9区分からいずれか1科目合格者	50,000	
	8.品質管理検定	「1級」合格者	50,000	
9.統計検定	「1級」の「統計数理」、「統計応用」いずれか1科目合格者	50,000		
	「1級」2科目目合格者	20,000		
	「準1級」合格者	30,000		
	語学試験	10.TOEIC（公開テスト） (原則として、編入学試験での入学者及び外国人留学生は除く。)	800点以上	30,000
		900点以上	50,000	
ドイツ語技能検定2級以上		30,000		
実用フランス語技能検定2級以上		30,000		
中国語検定2級以上		30,000		
漢語水平考試（HSK）5級以上		30,000		
スペイン語技能検定2級以上		30,000		
スペイン語検定（DELE）B1以上		30,000		
韓国語能力試験（TOPIK）4級以上		30,000		
ハングル能力検定試験準2級以上		30,000		
11.英語以外の外国語検定試験 (右記の各検定試験を対象とする。)	韓国語能力評価試験（KLAT）4級以上	30,000		
	ロシア語能力検定試験2級以上	30,000		
	ロシア語検定試験（ТРКИ）第1レベル以上	30,000		
	留学	12.本学交換留学制度に基づく海外留学 (平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者は除く。)	アジア圏	40,000
その他		80,000		
その他	13.スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体、又は、上記1～12に相当すると思われる事項	申請に基づき、後援会役員会で審査のうえ、決定する。		

3. 注意事項
- 1) 報奨の対象は、平成26年4月1日以降に基準を満たしたものである。
- 2) 「資格試験・認定試験」については、同一基準での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。ただし、税理士試験については、基準①、②のいずれか1回限りとする。
- 3) 「語学試験」については、同一言語での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。また、試験言語を、母語とする者は申請できない。
- 4) 編入学試験で入学した者及び外国人留学生が、語学試験で申請する場合は、学務課教務係まで事前に問い合わせること。
- 5) 「本学交換留学制度に基づく海外留学」については、滋賀大学経済学部学術後援基金助成金受給者及び（独）日本学生支援機構の海外留学支援制度（協定派遣）奨学金受給者で受給期間が3月を超える者は申請できない。
- 6) 「その他」の資格申請の基準については、2次レベル試験合格者とし、報奨額は50,000円とする。
- 7) 「統計検定準1級」については、1級取得報奨金支給済の場合は申請できない。
- 8) 「その他」で「全経簿記能力検定試験上級」を申請する場合、「日商簿記検定試験」と重ねて申請はできない。また、双方合格の場合でも支給額は上限70,000円とする。
- 9) 「情報処理技術者資格(高度試験)」の対象資格は左下の表のとおり。申請はどれか1つのみできるものとする。

ITストラテジスト試験	システムアーキテクト試験	プロジェクトマネージャ試験
ネットワークスペシャリスト試験	データベーススペシャリスト試験	エンベデッドシステムスペシャリスト試験
ITサービスマネージャ試験	システム監査技術者試験	情報処理安全確保支援士試験

会計スペシャリスト 育成支援制度 受給者の声

本制度は、令和6年度から新たに開始された制度です。将来の進路として税理士又は公認会計士の資格を有する高度専門職業人（会計スペシャリスト）を目指す意欲のある学生を対象に、専門学校、資格取得の専門予備校等での税理士又は公認会計士の資格対策講座の受講（ダブルスクール）に要する経費を援助します。

本制度を利用し、公認会計士試験論文式・短答式に合格された皆様から会計スペシャリストを目指す皆様へのコメントを頂戴いたしました。

皆様が切磋琢磨し、将来の夢を実現するための一助となることを期待しています。

詳細については、後援会HPからご確認ください。

（QRコードは編集後記に記載）

『公認会計士論文式合格』

経済学部 4 回生 深野 晃嗣



公認会計士論文式試験合格にあたり、私が努力したことは常に自分の目標点と現状の得点の

差を埋めるよう計画を立てて勉強したことです。私は公認会計士試験の試験科目の中で計算科目は得意だったので会計学や租税法、経営学の点数で企業法や監査論をカバーしたいと考えました。そのため、計算科目は科目合格レベルの得点を目標とし、苦手な科目は合格基準点を目標として計画を立てました。試験本番では、企業法で手痛いミスをしたため、監査論でも良い答案を書けなかったりと苦戦してしまいました。しかし、計算科目で科目合格に近い点数を取り合格することができたので計画通りの結果は出せたと思っています。今後はまだ明確には決まっていますが、監査法人に入所して実務を頑張ろうと思っています。

結果が出ず途中で挫折そうになることも多いと思いますが、モチベーションを維持するにはオンとオフの切り替えが大事だと思います。また、実際に合格者の答案を見ることがどの程度書けば合格できるかを知ることができるのでお勧めです。応援しています。

『公認会計士短答式合格』

経済学部 4 回生 河合 咲依



わたしは大学1回生の7月にCPA会計学院の通信講座に申し込みました。会

計士試験は範囲が膨大であり、また勉強期間も長期に渡ることから、継続して勉強することに苦労しました。そこで励みになったのは同じ会計士合格を目指す仲間が存在です。滋賀大学で会計士受験生にたくさん出会えたことで、挫折せず続けることができました。わたしのようになり、1人で勉強をしていると孤独を感じて勉強が嫌になってしまいう人にも、勉強仲間を作ることをおすすめします！勉強仲間を作れるフィールドは、大学、予備校、予備校主催の交流会、監査法人のイベントなど様々あります。現在わたしは、2025年8月の論文式試験に向けて勉強中です。合格したら四大監査法人に就職したいと考えているので、監査法人の就活イベントに積極的に参加しています。就職後は監査だけでなく、アドバイザリーやIPO、サステナビリティなど色々な業務に挑戦していきたいです。最後になりましたが、この度は温かいご支援をいただき、本当にありがとうございます。

『公認会計士短答式合格』

経済学部 4 回生 但馬 百花



私は、公認会計士短答式試験に合格しました。

出題範囲が極めて広いこの試験では、一定以上の勉強量の確保が不可欠となります。私は大学の講義やアルバイトとの両立が必要だったため、時間のやりくりで苦労しました。その中で特に意識したのは「ミスと真摯に向き合うこと」です。「なぜ間違えたのか」「今後間違わないためにはどうしたらいいか」といった原因分析を丁寧に行うことで着実に点数を伸ばしていくことができました。また、長期戦となるこの試験では、モチベーションの維持も重要となります。私の場合、休む時は休むという「メリハリ」を意識していました。結局は自分に合った方法を模索することが大切だと思います。

私は現在、論文式試験合格に向けて学習を継続しており、将来は多くの人や企業を支えられる公認会計士になりたいと考えています。これから挑戦する皆さんも、自分なりのやり方を見つけて、前向きに頑張ってください。

令和6年度 経済学部・データサイエンス学部後援会 収支計算書

令和7年3月31日

収 入		支 出		【会費収入内訳】		
前年度繰越額	16,505,340	支払済額	20,424,653	学部学生	570名 × @25,000円	= 14,250,000円
会費	15,506,250			編入生等	21名 × @12,500円	= 262,500円
利息(8月)	1,897			大学院(前)	74名 × @12,500円	= 925,000円
利息(2月)	7,996	次年度繰越金	11,596,830	大学院(後)	3名 × @18,750円	= 56,250円
合 計	32,021,483	合 計	32,021,483	大学院(1年)	2名 × @6,250円	= 12,500円
				計	15,506,250円	

(単位:円)

科 目		補正後予算額	支 出 額	差引残額	備 考
①厚生体育費補助	学生行事補助	700,000	650,700	49,300	運動大会補助、学長表彰副賞、卒業祝賀会補助等(補正予算)
	体育大会補助	1,620,000	1,619,982	18	滋和戦、体育関係各種大会費補助等
	部活動補助	1,000,000	1,001,080	-1,080	体育系課外物品援助
	小 計	3,320,000	3,271,762	48,238	
②文化活動費補助	学生行事補助	680,000	680,000	0	開学祭、滋大祭等補助
	部活動補助	800,000	799,352	648	文化系課外物品等援助、学外施設使用料援助
	小 計	1,480,000	1,479,352	648	
③学務・学生支援関係補助		1,500,000	1,498,121	1,879	学務関係諸経費補助、成績等送付経費、学生福利設備補助等
④図書充実費		800,000	799,983	17	図書購入費
⑤体育充実費		500,000	390,777	109,223	ゴルフ実習費、スキー教室経費、運動施設整備費等
⑥就職補助費		1,600,000	1,725,768	-125,768	SPI対策講座補助、就活関連図書購入等
⑦団体分担金		120,000	30,825	89,175	会費、学会開催経費
⑧研究所等補助	研究所	340,000	340,000	0	資料購入・運営費等補助
	史料館	70,000	70,000	0	資料購入・運営費等補助
	DS・AI研究推進センター	70,000	70,000	0	資料購入・運営費等補助
	小 計	480,000	480,000	0	
⑨入学式・卒業式・役員会経費	入学式	40,000	10,000	30,000	入学式・後援会説明会経費
	卒業式	10,000	500	9,500	卒業式経費補助
	役員会	400,000	350,010	49,990	役員会会議費、交通費、その他諸経費
	小 計	450,000	360,510	89,490	
⑩広報費		250,000	120,571	129,429	機関誌広告掲載料・後援会ちらし製作費、案内はがき・送料、封筒印刷費
⑪渉外費	学部渉外費	500,000	509,867	-9,867	オプショナル入関係、学部運営費・教員面接交通費補助等
⑫総務費	庶務費・雑費	100,000	31,420	68,580	消耗品、通信費、切手代等
⑬人件費		1,000,000	1,000,220	-220	後援会事務局担当の事務補佐員の人件費補助(前年度分は予備費)
⑭資格取得等報奨金		4,100,000	4,074,595	25,405	資格取得等報奨金(補正予算)、振込手数料
⑮会計スペシャリスト育成		600,000	602,420	-2,420	会計スペシャリスト育成経費(補正予算)
⑯情報教育充実費		900,000	894,449	5,551	学生用セキュリティソフト等
⑰滋賀大学基金		100,440	100,220	220	旧・外国人留学生援助金
⑱繰越金活用事業		5,000,000	2,821,458	2,178,542	シリコンバレー研修等
計		22,800,440	20,192,318	2,608,122	
⑲学部記念事業援助費積立		0	0	0	「事業準備費」に繰入(残額を勘案し令和6年度は計上なし)
⑳会議準備費積立		0	0	0	「会議準備費」に繰入(令和6年度は計上なし)
㉑予備費		9,221,043	232,335	8,988,708	退学・除籍者への会費返還追加入金あり(大学院(前)12,500円)
合 計		32,021,483	20,424,653	11,596,830	

令和6年度 事業準備費 収支計算書

令和7年3月31日

(単位:円)

令和6年度 会議準備費 収支計算書

令和7年3月31日

(単位:円)

収 入		支 出		収 入		支 出	
前年度繰越額	6,623,669	彦根高商創立百周年記念事業	11,220	前年度繰越額	1,177,746	12大学経済学部長・事務長会議	0
受入	0	彦根高商創立百周年記念事業支出額	0	受入	0	次年度繰越予定額	1,178,263
利 息(8月分)	407	次年度繰越予定額	6,615,354	利 息(8月分)	72		
利 息(2月分)	2,498			利 息(2月分)	445		
合 計	6,626,574	合 計	6,626,574	合 計	1,178,263	合 計	1,178,263

令和7年度 経済学部・データサイエンス学部後援会予算

収入 (単位:円)		
科目	予算額	備考
前年度繰越額	11,596,830	
会費(学部生)	14,175,000	新入生567名×@25,000
会費(大学院生・前期)	912,500	新入生73名×@12,500
会費(大学院生・後期)	112,500	新入生6名×@18,750
会費(編入・大学院1年)	362,500	編入生等27名×@12,500、大学院1年等4名×@6,250
利息(見込み)	10,000	
収入合計	27,169,330	

支出 (単位:円)		
科目	予算額	備考
①厚生体育費補助	3,050,000	運動大会補助、大会費補助、体育系課外物品援助
②文化活動費補助	1,400,000	滋大祭等補助、文化系課外物品等援助、学外施設使用料援助
③学務・学生支援関係補助	1,700,000	学務関係諸経費補助、成績等送付経費、学生福利厚生設備補助等
④図書充実費	650,000	図書購入費
⑤体育充実費	500,000	ゴルフ実習費、スキー教室経費、運動施設整備費等
⑥就職補助費	1,600,000	SPI対策講座、就職指導経費等
⑦団体分担金	60,000	会費、学会開催経費・院生交流会経費補助
⑧研究所補助	480,000	資料購入・運営費等補助
⑨入学式・卒業式・役員経費	450,000	入学式・後援会説明会・卒業式経費、役員会会議費、交通費等
⑩広報費	170,000	後援会だより製作費、案内はがき・送料、封筒印刷費
⑪渉外費	450,000	オープンキャンパス関係、学部運営費、教員面接交通費補助等
⑫総務費	70,000	消耗品、通信費、切手代等
⑬人件費	1,000,220	後援会事務局担当事務補佐員の人件費補助
⑭資格取得等報奨金	3,400,000	資格取得報奨金、振込手数料
⑮会計スペシャリスト育成	502,200	会計スペシャリスト育成経費
⑯情報教育充実費	913,026	学生用セキュリティソフト等
⑰滋賀大学基金	0	旧・外国人留学生援助金
⑱繰越金活用事業	3,000,000	シリコンバレー研修、生協食事補助等
⑲予備費	7,773,884	退学・除籍者への会費返還
支出合計	27,169,330	

令和7年度 後援会役員会名簿

役職	氏名
会長	坂野 高志
副会長	戸谷田 知成
副会長	貝吹 行則
監事	森野 陽子
監事	宇野 孝志
幹事	村木 雅直
幹事	村松 由美
幹事	中川 さゆり
幹事	堀部 千夏
幹事	西尾 貞司
幹事	山之内 伸宏
幹事	石黒 敬康
幹事	中村 敬子
幹事	一井 志保
幹事	嶋川 昌典

後援会総会

本後援会の通常総会は、令和5年度に規約第14条を改正し、通常総会は毎年5月に開催することに決まり、規約に即して5月の役員会の開催をもって総会に代えることになりました。令和7年5月24日に開催された役員会では4名の新役員が承認をいただいた旨、ご報告申し上げます。新体制で後援会を益々盛り上げていく所存でございます。皆さま、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、役員会の要旨については後援会HPに掲載されていますので、ご覧いただけましたら幸いです。

《お問い合わせ・ご意見・感想等》
滋賀大学 経済学部・データサイエンス学部共通事務部 総務・企画係
TEL: 0749-27-1030

編集後記

後援会だよりは以下のQRコードからでもご覧いただけます。
記事の感想や要望、後援会や経済学部・DS学部に対するご要望、ご意見等をお聞かせください。

(送付先)
滋賀大学 経済学部・DS学部共通事務部総務・企画係
E-mail: ksyomu@biwako.shiga-u.ac.jp



後援会HP

令和7年度 学年暦・主要な行事(予定)

《春学期》

(注) 変更される場合があります。

月	日(曜日)	授業関係	就職関係	その他
3	7(金)	成績発表(サクセス(Web)で確認)		
4	4(金)	入学式(びわ湖ホール)		新入生オリエンテーション 「キャンパスライフ講習会」
	7(月)	新入生オリエンテーション		新入留学生オリエンテーション
	8(火)	春学期授業開始		
	14(月)			IELTS対策講座開講(～7/21)
	17(木)、23(水)		公務員志望者向け就職ガイダンス	
	22(火)、24(木)			海外短期研修説明会
	29(火)	授業日		
	30(水)			第41回滋賀大学グローバルセミナー
5	7(水)、9(金)		就職説明会(就活キックオフ宣言) (3回生)【データサイエンス学部】	
	9(金)		公務員志望者向け就職ガイダンス	
	9(金)、10(土)、12(月)、13(火)		就職説明会(就活キックオフ宣言) (3回生)【経済学部】	
	13(火)、15(木)、16(金)			留学説明会(～カモンなのGO～)
	16(金)～		公務員学内講座	
	19(月)～23(金)	グローバルコース募集説明会		
	20(火)、23(金)		第1回就職ガイダンス(3回生)	
	27(火)		第2回就職ガイダンス(3回生)	
	31(土)			開学記念日 新入生歓迎マラソン
	下旬		彦根キャンパス学内就職セミナー(3回生)	
6	1(日)～(10/31(金)まで)		SPI対策講座(オンライン)	
	3(火)、6(金)		第3回就職ガイダンス(3回生)	
	5(木)	成績優秀者表彰式		
	7(土)			滋和2大学学長杯争奪総合定期戦結団式
	10(火)、13(金)		第4回就職ガイダンス(3回生)	
	14(土)～15(日)			フレッシュマン・キャンプ
	17(火)、20(金)		第5回就職ガイダンス(3回生)	
	21(土)～22(日)			第58回滋和2大学学長杯争奪総合定期戦
	24(火)、27(金)		第6回就職ガイダンス(3回生)	
	下旬			第42回滋賀大学グローバルセミナー
7	1(火)、4(金)		第7回就職ガイダンス(3回生)	
	8(火)、11(金)		第8回就職ガイダンス(3回生)	
	12(土)	補講日	留学生対象就職活動ガイダンス	
	19(土)	補講日		
	21(月)	海の日 授業日		
	23(水)	授業日(月曜日の授業) 春学期授業終了		
	24(木)～8/5(火)	春学期試験(予備日を含む)		
	下旬			第43回滋賀大学グローバルセミナー
8	6(水)～9/30(火)	夏季休業、集中講義		
9	上旬	成績発表(サクセス(Web)で確認)		
	中旬			SFA(学生・教員協議会)
	下旬			第44回滋賀大学グローバルセミナー

その他の情報は
大学のホームページから

滋賀大学のトップページ
<https://www.shiga-u.ac.jp/>

メニューバー
学生生活・就職

- ◇履修・授業
- ◇課外活動
- ◇就職・進路支援
- ◇奨学金・授業料免除
- ◇大学生活サポート

《 秋学期 》

(注) 変更される場合があります。

月	日(曜日)	授業関係	就職関係	その他
10	1(水)	秋学期授業開始		
	9(木)	経済学研究科 博士後期課程D3中間研究報告会		
	13(月) スポーツの日	授業日		
	上旬			IELTS対策講座開講(～1月下旬)
	中旬			定例学生総会、体育総会、文サ連総会
	中旬			学内ゼミナール大会
	16(木)	経済学研究科 博士後期課程D2研究報告会		
	16(木)	大学院経済学研究科 博士前期課程学位論文中間報告会		
	24(金)	彦根地区キャンパス休講		榎本杯争奪駅伝大会
	25(土)～26(日)			滋大祭
	下旬			第45回滋賀大学グローバルセミナー
11	3(月) 文化の日	授業日		
	上旬		陵水会計人会による学生説明会 (1～4回生)	
	中旬			留学説明会(～カモンなのにGO～)
	24(月) 振替休日	授業日		
	29(土)～30(日)			リーダートレーニング
	下旬			第46回滋賀大学グローバルセミナー
12	中旬		留学生対象就職活動ガイダンス	
	24(水)～1/3(土)	冬季休業、集中講義		
1	5(月)	授業再開		
	10(土)	補講日		
	16(金)～18(日)	休講及び入構禁止 (大学入学共通テスト準備及びテスト)		
	24(土)	補講日		
	27(火)	授業日(金曜日の授業)		
	27(火)	秋学期授業終了		
	28(水)～2/9(月)	秋学期試験(予備日を含む)		
	下旬			第47回滋賀大学グローバルセミナー
2	24(火)～26(木)	入構禁止 (前期日程入学試験準備及び試験)		
	下旬			SFA(学生・教員協議会)
3	11(水)～12(木)	入構禁止 (後期日程入学試験準備及び試験)		
	26(木)	卒業式(びわ湖ホール)		卒業祝賀会

これらに関することは、下記までお問い合わせください

○授業・休学・退学に関すること
学務課教務係
0749-27-1031(ダイヤルイン)

○学生生活・クラブ活動等に関すること
学生支援課学生支援係
0749-27-7530(ダイヤルイン)

○就職・進学に関すること
学生支援課就職係
0749-27-1021(ダイヤルイン)

○留学に関すること
国際交流課
0749-27-1430(ダイヤルイン)

学務課大学院係
0749-27-1032(ダイヤルイン)

○授業料免除・奨学金に関すること
学生支援課学生支援係
0749-27-7530(ダイヤルイン)

就職支援室
0749-27-1156(ダイヤルイン)

障がい学生支援室
0749-27-8166(ダイヤルイン)